



2020 年度 明治大学【農 学 部】  
食料環境政策学科  
国語/地理歴史・公民・数学・理科  
(国語を必須、他の 7 科目中 1 科目選択)  
【解答時間】120分  
【配点】1 科目 120 点 計 240 点

そ

地理歴史・公民(世界史 B, 日本史 B,  
地理 B, 政治・経済)問題

はじめに、これを読みなさい。

1. これは、世界史 B, 日本史 B, 地理 B, 政治・経済の 4 科目の問題を綴じた冊子である。必要な科目を選択して解答しなさい。
2. 問題は全部で 86 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
3. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
4. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
5. 監督者の指示にしたがい、解答用紙にある「解答科目マーク欄」に 1 つマークし、「解答科目名」記入欄に解答する科目名を記入しなさい。なお、マークしていない場合、または複数の科目にマークした場合は 0 点となる。
6. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。解答番号は各科目の最初に示してある。
7. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
8. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入のこと。
9. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
10. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
11. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。
12. この問題冊子は必ず持ち帰ること。
13. マーク記入例

良い例	悪い例
	





# 日 本 史 B

(解答番号 1～40, 101～110)

〔 I 〕 次の 1 と 2 の文章を読み、以下の設問に答えよ。(解答番号 1～8, 101～102)

1 8世紀の初めは、皇族や中央の有力貴族間で勢力が比較的均衡に保たれる中、藤原  を中心に律令制度の確立がはかられた。しかし、やがて藤原氏が政界に進出すると、大伴氏や佐伯氏などの旧来の有力諸氏の勢力は後退していった。藤原  は、娘の宮子を文武天皇に嫁がせ、その子の皇太子にも娘の光明子を嫁がせて天皇家と密接な関係を築いた。

藤原  が死去すると、皇族の  が右大臣となり政権を握ったが、藤原氏の外戚としての地位が危うくなると、藤原  の子の武智麻呂・房前・宇合・麻呂の4兄弟は、729(天平元)年、策謀によって左大臣であった  を自殺させ、光明子を皇后に立てることに成功した。しかし、737(天平9)年に流行した天然痘によって4兄弟はあいついで病死し、藤原氏の勢力は一時後退した。かわって皇族出身の橘諸兄が政権を握り、唐から帰国した吉備真備らが聖武天皇に信任されて活躍した。

問 1 空欄(1)に入る適切な人名を解答用紙裏面の解答欄に漢字で記入せよ。

(解答番号 101)

問 2 空欄(2)に入る適切な人名を下記から一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 1)

A 藤原広嗣

B 恵美押勝

C 藤原冬嗣

D 長屋王

E 草壁皇子



問 5 下線部(ウ)に関連して、遣唐使について記述した文章として適切でないものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 4)

- A 618年に隋が滅んで唐がおこると、倭は630年の小野妹子をはじめとして遣唐使を派遣した。
- B 日本からの遣唐使は8世紀にはほぼ20年に1度の割合で派遣された。
- C 遣唐留学生だった阿倍仲麻呂は唐の玄宗皇帝に重用されて高官にのぼり、詩人王維・李白とも交流があった。
- D 遣唐使は菅原道真の建議により停止に至った。
- E 遣唐使の航路は、初め北路をとったが、新羅との関係の悪化により南路をとるようになった。

2 奈良時代には、宮廷・貴族や寺院の豊かな生活と仏教の発展とに支えられ、多くのすぐれた美術作品がつくられた。

建築では、寺院や宮殿に礎石・瓦を用いた壮大な建物が建てられた。もと貴族の邸宅であった (3) 伝法堂、もと平城宮の宮殿建築であった唐招提寺講堂のほか、東大寺法華堂・唐招提寺金堂・正倉院宝庫などが代表的で、いずれも均整がとれて堂々としている。

彫刻では、表情豊かで調和のとれた仏像が多く、以前からの金銅像や木像のほかに、木を芯にして粘土を塗り固めた塑像や、原型の上に麻布を幾重にも漆で塗り固め、あとで原型を抜き取る乾漆像の技法が発達した。

工芸品としては、正倉院宝物が有名である。聖武太上天皇の死後、光明皇太后が遺愛の品々を東大寺に寄進したものを中心に、服飾・調度品・楽器・武具など多様な品々が含まれる。これらの宝物には、唐ばかりでなく西アジアや南アジアとの交流を示すものがみられ、当時の宮廷生活の文化的水準の高さと国際性がうかがえる。

問 6 空欄(3)に入る適切な名称を下記から一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 5)

- A 広隆寺                      B 法隆寺                      C 薬師寺                      D 飛鳥寺

問 7 下線部(エ)にみられる、三角材を井桁に積み上げた建築技法の名称を解答用紙裏面の解答欄に漢字三文字で記入せよ。(解答番号 102)

問 8 下線部(オ)と(カ)のそれぞれの作品の組み合わせとしてもっとも適切なものを下記から一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 6)

- A (オ)東大寺法華堂日光・月光菩薩像      (カ)東大寺法華堂執金剛神像  
B (オ)唐招提寺鑑真像                      (カ)唐招提寺金堂盧舎那仏像  
C (オ)聖林寺十一面観音像                  (カ)東大寺戒壇堂広目天像  
D (オ)東大寺法華堂不空羼索観音像      (カ)興福寺十大弟子像  
E (オ)新薬師寺十二神将像                  (カ)興福寺阿修羅像

問 9 下線部(キ)に関連して、正倉院宝物に該当しない作品を一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 7)

- A 片輪車螺鈿蒔絵手箱                      B 漆胡瓶  
C 白瑠璃碗                                  D 螺鈿紫檀五絃琵琶

問10 下線部(ク)の聖武太上天皇(聖武天皇)に関連して記述した文章として適切でないものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 8)

- A 聖武太上天皇は光明皇太后、孝謙天皇とともに、玄昉から戒を受けた。  
B 仏教を厚く信仰し、仏教の持つ鎮護国家の思想によって国家の安定をはかろうとした。  
C 聖武天皇の娘である孝謙天皇のときに、大仏の開眼供養の儀式が盛大に行われた。  
D 光明皇后は仏教思想に基づき、平城京に悲田院を設けて孤児・病人を収容し、施薬院を設けて医療にあたらせた。

〔Ⅱ〕 次の1と2の文章を読み、以下の設問に答えよ。(解答番号9～16, 103～104)

1 鎌倉幕府が統治していた頃までの武士は開発領主の系譜を引き、先祖以来の地に住み着いて、所領を拡大してきた。彼らは、河川の近くの微高地を選んで館をかまえ、周囲には堀・溝や塀をめぐらして住んでいた。館の周辺部には、年貢や公事のかからない直営地を設け、下人や所領内の農民を使<sup>(ア)</sup>って耕作させた。そして荒野の開発を進めていき、みずからは地頭など現地の管理者とし<sup>(イ)</sup>て、農民から年貢を徴収して  や荘園領主におさめ、定められた収入として加徴米などを得ていた。

彼らは一族の子弟たちに所領をわけ与える分割相<sup>(ウ)</sup>続を原則としていたが、それぞれは一族の血縁的統制のもとに、宗家(本家)を首長と仰ぎ、活動を広げていった。この宗家と分家との集団は、一門・一家と称され、宗家の首長を  , 他を庶子と呼んだ。こうした体制を  制と呼ぶ。

問1 空欄(1)に入る適切な名称を下記から一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号9)

- |      |      |       |
|------|------|-------|
| A 侍所 | B 国衙 | C 問注所 |
| D 守護 | E 政所 |       |

問2 空欄(2)に入る適切な名称を解答用紙裏面の解答欄に漢字二文字で記入せよ。(解答番号103)



問 3 下線部(ア)に関連して、当時の武士の生活についての記述として適切でないものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 10)

- A 館は武芸の練習の場や防御設備などを設けた一種の城でもあった。
- B 直営地は佃・門田・正作・用作などと呼ばれた。
- C 「武家のならい」などと呼ばれる道徳は、後世の武士道とは無関係であり、全く異なるものである。
- D 武芸を身につけることを重視し、つねに流鏑馬などの訓練をおこなっていた。

問 4 下線部(イ)に関連して、地頭の支配権拡大にともない、既存の荘園・公領の領主たちとの間に生じた紛争を解決する手段の名称としてもっとも適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 11)

- A 下地中分
- B 新恩給与
- C 一国一城令
- D 本領安堵

問 5 下線部(ウ)に関連して、鎌倉時代における家族制度に関する記述として適切でないものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 12)

- A 女性の地位は低く、相続に際して財産の分配をあずかることはなかった。
- B 結婚形態は嫁入婚が一般的となった。
- C 鎌倉後期になると、家督をついだ嫡子が、所領をまとめて単独相続するようになった。
- D 御家人たちの多くは分割相続の繰り返しによって所領が細分化されたうえ、貨幣経済の発展に巻き込まれて窮乏していった。

2 室町時代、産業の発達につれて商業もさかんになった。市の開催日も増加し、応仁の乱後には月6回の六斎市が一般化した。都市では常設の小売店が増加し、<sup>(ア)</sup>特定の商品だけをあつかう専門の市場も生まれた。公家や寺社を本所とする商工業者の座も種類や数が増加し、一定地域内での仕入れ・販売の独占権や、<sup>(オ)</sup>領内での関銭免除の特権などを本所からあたえられて、さかんに活動した。

産業や商品流通の発達とともに、貨幣の流通もさかんになり、年貢の銭納や、段銭・棟別銭など銭納の税も増加した。宋銭や明銭などの輸入銭だけでは、流通量が不足したため、(3)などの不良な銭が使用され、取り引きが混乱した。そこで幕府や戦国大名は、しばしば撰銭令を出して混乱を防いだが、<sup>(カ)</sup>みずから銭貨を鑄造しなかった。銭貨の流通により、為替の利用もさかんとなり、酒屋・土倉なども、金融業者として幕府の保護を受けて活躍した。

問 6 空欄(3)に入る適切な名称を解答用紙裏面の解答欄に漢字三文字で記入せよ。(解答番号 104)

問 7 下線部(ア)について、応仁の乱に関連する記述としてもっとも適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 13)

- A 足輕は徒歩で軍役に服す雑兵のことで、軽装で機動力に富み、応仁の乱の頃さかんに活躍した。
- B 応仁の乱では、山名持豊を中心とする東軍と、細川勝元を中心とする西軍とが、11年にわたって、京都を中心として戦った。
- C 地方では、応仁の乱後も戦乱がつづき、守護代や国人による年貢の横領がいっそうはげしくなり、石高制はほとんど壊滅状態におちいった。
- D 応仁の乱後、守護大名の権威がおとろえ、農村各地で村方騒動が活発になった。

問 8 下線部(オ)について、京都の北野天満宮を本所とし、酒造りに関連する座としてもっとも適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 14)

- A 油座                      B 麴座                      C 綿座                      D 絹座

問 9 下線部(カ)について、明銭として適切でないものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 15)

- A 洪武通宝                  B 永楽通宝                  C 開元通宝                  D 宣徳通宝

問10 下線部(キ)について、戦国大名に関連する記述の正誤の組み合わせとしてもっとも適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 16)

- ① 戦国大名による鉱山開発は、精錬技術・採掘技術の革新をもたらし、とくに金・銀の生産を飛躍的に高めた。石見・但馬の金山，甲斐・駿河・伊豆の銀山などが有名である。
- ② 戦国大名の城下町としては、北条氏の小田原，今川氏の府中(静岡市)，上杉氏の春日山(上越市)，大内氏の山口，大友氏の豊後府内(大分市)，島津氏の鹿児島などがある。
- ③ 戦国大名は、新たに征服した土地などで検地をしばしばおこない、検地によって把握された年貢量は銭に換算され、貫高制の基礎となった。

〔選択肢〕

- A ①－正                  ②－正                  ③－正
- B ①－正                  ②－正                  ③－誤
- C ①－正                  ②－誤                  ③－誤
- D ①－誤                  ②－正                  ③－正
- E ①－誤                  ②－誤                  ③－正
- F ①－誤                  ②－正                  ③－誤
- G ①－誤                  ②－誤                  ③－誤

〔Ⅲ〕 次の1の年表と2の文章を読み、以下の設問に答えよ。(解答番号17～24, 105～106)

1 鎖国関係略年表

1587(天正15)年	バテレン追放令
1600(慶長5)年	(1) 号, 豊後に漂着
1604(慶長9)年	<u>糸割符制度の開始</u>
1612(慶長17)年	(ア) 直轄領に禁教令
1613(慶長18)年	全国に禁教令
1614(慶長19)年	宣教師や (2) らを海外に追放
1616(元和2)年	ヨーロッパの船の寄港を平戸, 長崎に制限
1622(元和8)年	<u>元和の大殉教</u>
1624(寛永元)年	(イ) スペイン船の来航禁止
1631(寛永8)年	奉書船制度の開始
1633(寛永10)年	<u>寛永十年の鎖国令</u>
1634(寛永11)年	(ウ) 長崎に出島をきずく
1635(寛永12)年	<u>寛永十二年の鎖国令</u>
1636(寛永13)年	(エ) ポルトガル人を出島に移す
1637(寛永14)年	島原・天草一揆(島原の乱)(～1638年)
1639(寛永16)年	<u>寛永十六年の鎖国令</u>
1641(寛永18)年	(オ) オランダ商館を出島に移す

問1 空欄(1)に入るオランダ船の名称を解答用紙裏面の解答欄にカタカナ四字で記入せよ。(解答番号105)

問 2 空欄(2)に入る人名としてもっとも適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 17)

- A 田中勝介                      B 支倉常長                      C 高山右近  
D 山田長政                      E 有馬晴信

問 3 下線部(ア)について、糸割符制度に関連する記述の正誤の組み合わせとしてもっとも適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 18)

- ① 糸割符制度は、糸割符仲間と呼ばれる特定の商人らに輸入生糸(白糸)を一括購入させることで、ポルトガル商人らの利益独占を排除した。  
② 糸割符仲間の成員は、当初、堺・長崎・京都の三カ所商人だけだったが、その後、江戸・大坂が加わって五カ所商人と呼ばれた。  
③ 糸割符制度は当初、ポルトガル商人だけに適用されたが、その後、中国、オランダにも適用された。

[選択肢]

- A ①-正                      ②-正                      ③-正  
B ①-正                      ②-正                      ③-誤  
C ①-正                      ②-誤                      ③-誤  
D ①-誤                      ②-正                      ③-正  
E ①-誤                      ②-誤                      ③-正  
F ①-誤                      ②-正                      ③-誤  
G ①-誤                      ②-誤                      ③-誤

問 4 下線部(イ)について、元和の大殉教がおこった場所としてもっとも適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 19)

- A 京都                              B 大坂                              C 山口  
D 長崎                              E 大分

問 5 下線部(ウ)から(オ)について、以下の①から③は寛永十年、寛永十二年、寛永十六年の鎖国令の一部である。それぞれがどの鎖国令に該当するか、その組み合わせとしてもっとも適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 20)

① 一、奉書船の外に、日本人異国え遣し申す間敷候。若し忍び候て乗ま  
いり候ものこれあるに於ては、其ものは死罪、其船并に船主共に留置、  
言上仕るべきの事。(『徳川禁令考』)

② 一、日本国御制禁なされ候吉利支丹宗門の儀、その趣を存じながら、  
かの法をひろむるの者、今に密々差し渡る事。

右、これにより、自今以後かれうた渡海の儀、これを停止せられ畢。  
……(『御当家令条』)

③ 一、異国江日本の船遣すの儀、堅く停止の事。(『教令類纂』)

〔選択肢〕

- A ①寛永十年の鎖国令 ②寛永十二年の鎖国令 ③寛永十六年の鎖国令  
B ①寛永十年の鎖国令 ②寛永十六年の鎖国令 ③寛永十二年の鎖国令  
C ①寛永十二年の鎖国令 ②寛永十年の鎖国令 ③寛永十六年の鎖国令  
D ①寛永十二年の鎖国令 ②寛永十六年の鎖国令 ③寛永十年の鎖国令  
E ①寛永十六年の鎖国令 ②寛永十年の鎖国令 ③寛永十二年の鎖国令  
F ①寛永十六年の鎖国令 ②寛永十二年の鎖国令 ③寛永十年の鎖国令

2 1716(享保元)年、7代将軍徳川 (3) が幼くしてなくなり、徳川本家の血統が絶えると、徳川家康の曾孫にあたる紀州藩主の徳川吉宗が8代将軍に迎えられた。吉宗は徳川綱吉以来の側用人政治を廃止し、譜代大名を重視するとともに、有能な人材を登用し、武士に武芸を奨励するなど、幕府政治の改革をはかった。これを享保の改革という。

幕府の当面する課題は、<sup>(カ)</sup>財政の再建にあった。吉宗は、儉約令を出し、上米<sup>(キ)</sup>の制を定めるなど財源の確保につとめた。また、吉宗は、商人や職人が株仲間<sup>(ク)</sup>をつくることを認め、運上金や冥加金とよばれる営業税をおさめさせ、商業を統制しようとした。さらに吉宗は、評定所などの幕府の行政組織を整備し、財政難のもとで人材を登用するため、足高の制を定めた。<sup>(ケ)</sup>

問 6 空欄(3)に当てはまる人名としてもっとも適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 21)

- |      |      |      |
|------|------|------|
| A 家宣 | B 家継 | C 家重 |
| D 家治 | E 家斉 | F 家慶 |

問 7 下線部(カ)について、享保の改革に関連する記述としてもっとも適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 22)

- A 検見取法の採用による幕府直轄領の年貢増徴と新田開発の推進によって収入増加をねらった。
- B 質流地禁止令を出して農民の階層分化をふせごうとしたが、越後や出羽で質地騒動がおこったため、これを撤回した。
- C 南鐐二朱銀などの計数銀貨を鑄造させ、金銀通貨の一本化をねらった。
- D 江戸市中では、町入用(町費)の節約分の7割を積み立て、災害や飢饉に備えさせた。
- E 江戸へ流入した貧民の帰郷強制などを命じた人返し令を出した。

問 8 下線部(キ)について、以下は上米令の一部である。空欄(4)に入る米の異称としてもっとも適切な名称を解答用紙裏面の解答欄に漢字二文字で記入せよ。(解答番号 106)

……それニ付、御代々御沙汰之無き事ニ候得共、万石以上の面々より  
〔4〕 差し上げ候様ニ仰せ付けらるべしと思召し、左候ハねば御家人の内数百人、御扶持召放さるべきより外は之無く候故、御恥辱を顧みられず仰せ出され候。高壺万石ニ付 〔4〕 百石積り差し上げらるべく候。……  
〔『御触書寛保集成』〕

問 9 下線部(ク)について、株仲間に関連する記述の正誤の組み合わせとしてもっとも適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 23)

- ① 田沼意次は株仲間を積極的に公認して、運上金や冥加金の増収を図った。
- ② 物価騰貴の原因は十組問屋などの株仲間が上方市場からの商品流通を独占しているためと判断して、水野忠邦は株仲間の解散を命じた。
- ③ 水野忠邦の失脚後、株仲間再興令が出された。

〔選択肢〕

- |   |       |       |       |
|---|-------|-------|-------|
| A | ① - 正 | ② - 正 | ③ - 正 |
| B | ① - 正 | ② - 正 | ③ - 誤 |
| C | ① - 正 | ② - 誤 | ③ - 誤 |
| D | ① - 誤 | ② - 正 | ③ - 正 |
| E | ① - 誤 | ② - 誤 | ③ - 正 |
| F | ① - 誤 | ② - 正 | ③ - 誤 |
| G | ① - 誤 | ② - 誤 | ③ - 誤 |



問10 下線部(ケ)について、足高の制に関連して徳川吉宗に登用された人名として適切でないものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 24)

- A 佐藤信淵      B 神尾春央      C 田中丘隅      D 大岡忠相

〔IV〕 次の1と2の文章を読み、以下の設問に答えよ。(解答番号 25～32, 107～108)

1 第1次桂太郎内閣は、長らく政権を担当し、日露戦争後の1905(明治38)年末に退陣した。この間、野党の地位にとどまっていた (1) は、地方の有力者の支持を得て勢力をのぼし、1906(明治39)年には同党総裁西園寺公望が内閣を組織した。また、同年に (2) が結成されると、当面その存続を認めた。しかし、1907(明治40)年の恐慌による政策のゆきづまりを背景に、翌年の総選挙で圧勝したにもかかわらず、桂太郎に政権をゆずった。

第2次桂内閣は、1908(明治41)年に戊申詔書を發布した。また、1910(明治43)年の大逆事件を機に社会主義者・無政府主義者を大弾圧した。一方で、翌年の工場法の公布など若干の社会政策的配慮もおこなった。桂は韓国併合を強行したのち、1911(明治44)年にふたたび西園寺に内閣をゆずった。

問1 空欄(1)と(2)に当てはまる政党名の組み合わせとしてもっとも適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 25)

- A (1) 立憲政友会 (2) 社会民主党
- B (1) 立憲政友会 (2) 日本社会党
- C (1) 立憲同志会 (2) 社会民主党
- D (1) 立憲同志会 (2) 日本社会党

問 2 下線部(ア)に関連して、第1次西園寺公望内閣の政策に関する記述の正誤の組み合わせとして最も適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 26)

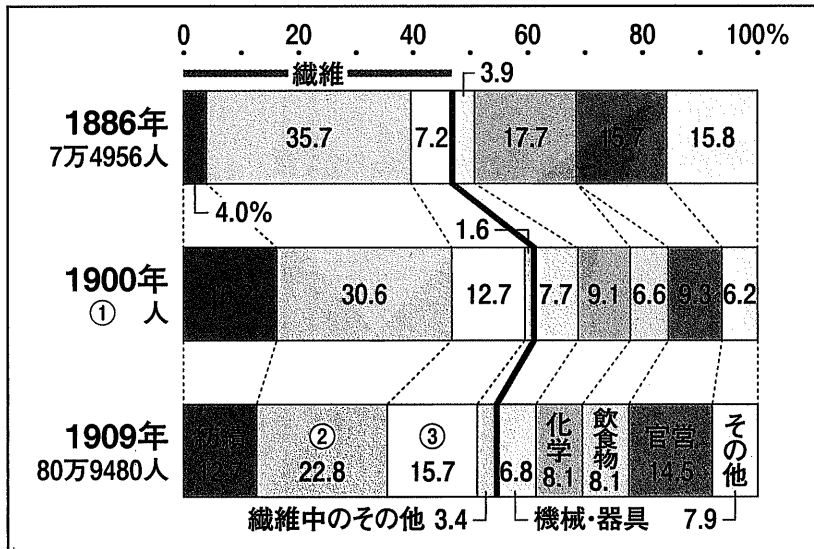
- ① 下関条約に調印した。
- ② 「政費節減・民力休養」を唱え予算を大幅に削減した。
- ③ 鉄道国有法を成立させた。

[選択肢]

- |   |     |     |     |
|---|-----|-----|-----|
| A | ①-正 | ②-正 | ③-正 |
| B | ①-正 | ②-正 | ③-誤 |
| C | ①-正 | ②-誤 | ③-誤 |
| D | ①-誤 | ②-正 | ③-正 |
| E | ①-誤 | ②-誤 | ③-正 |
| F | ①-誤 | ②-正 | ③-誤 |
| G | ①-誤 | ②-誤 | ③-誤 |

問 3 下線部(イ)に関連して、戊申詔書発布以後、内務省を中心におこなわれた、町村の財政基盤の強化と風俗改良をめざす官製運動の名称を解答用紙裏面の解答欄に漢字六文字で記入せよ。(解答番号 107)

問 4 下線部(ウ)に関連して、次の図は 1886(明治 19)年から 1909(明治 42)年にかけての日本の工場労働者数の内訳(工場は 10 人以上使用のもの)を示したものである。図中の①と②に当てはまる数値と用語の組み合わせとしてもっとも適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 27)



[選択肢]

- |   |           |      |
|---|-----------|------|
| A | ① 24万1433 | ② 製糸 |
| B | ① 24万1433 | ② 織物 |
| C | ① 38万7796 | ② 製糸 |
| D | ① 38万7796 | ② 織物 |

問 5 下線部(ア)に関連して、①から③は韓国併合に至る過程での出来事である。年代の古いものから順に並べたものとしてもっとも適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 28)

- ① 伊藤博文暗殺
- ② 桂-タフト協定の締結
- ③ 日韓議定書の締結

[選択肢]

- |   |     |   |     |   |     |
|---|-----|---|-----|---|-----|
| A | ①②③ | B | ①③② | C | ②①③ |
| D | ②③① | E | ③①② | F | ③②① |

2 明治維新後、生活様式や風俗の西洋化がすすんだ。東京の銀座通りには煉瓦造の耐火建築が並び、(3)・人力車・乗合馬車などが評判になった。電力の整備も進められた。電力事業は1880年代から火力発電を利用してはじまったが、日清戦争前からは水力発電も導入され、京都ではその電力を使った路面電車が開通した。日露戦争後になると、<sup>(オ)</sup>遠距離送電が可能となったこともあって電力事業は急速に拡大し、大都市だけでなくしだいに地方へも電灯が普及するとともに、工業用電力としての利用が急増した。

1938(昭和13)年4月には<sup>(カ)</sup>(4)が制定され、政府は議会の承認なしに、戦争遂行に必要な物資や労働力を動員する権限を与えられ、国民生活を全面的統制下においた。同時に制定された電力国家管理法は、民間の電力各社を単一の国策会社に一挙に統合するものであった。

第二次世界大戦後の1947(昭和22)年には、資材と資金を石炭・鉄鋼などの重要産業部門に集中する(5)方式が採用され、復興金融金庫を創設して電力・海運などを含む基幹産業への資金供給が開始された。また、電力業は、1951(昭和26)年に発電から配電までの一貫経営をおこなう、民有民営形態の地域別9電力体制に再編成された。その後、1973(昭和48)年10月に第4次中東戦争が勃発し、アラブ産油国は原油価格を大幅に引き上げ、日本経済は大きな打撃を受けた(石油危機)。政府は石油危機後、石油代替エネルギーとして<sup>(キ)</sup>原子力発電に力を入れることになった。しかし、2011(平成23)年3月に

は、東日本大震災と福島原発事故が発生し、放射線被害は広範囲に及んだ。原発の安全神話が崩れ、原発依存から脱却したエネルギー体系の確立が大きな不可避的課題となっている。

問 6 空欄(3)と(4)に当てはまる用語の組み合わせとしてもっとも適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 29)

- |           |             |
|-----------|-------------|
| A (3) 水銀灯 | (4) 重要産業統制法 |
| B (3) 水銀灯 | (4) 国家総動員法  |
| C (3) ガス灯 | (4) 重要産業統制法 |
| D (3) ガス灯 | (4) 国家総動員法  |

問 7 空欄(5)は有沢広巳の発案で、第1次吉田茂内閣で閣議決定され、その後の内閣でも継承されたものである。あてはまる語句を解答用紙裏面の解答欄に漢字で記入せよ。(解答番号 108)

問 8 下線部(オ)について、京都では、ある湖の疎水を利用した発電所の電力が利用された。この湖が所在する現在の府県名として適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 30)

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| A 静岡県 | B 岐阜県 | C 福井県 |
| D 滋賀県 | E 京都府 | F 兵庫県 |

問 9 下線部(カ)について、明治・大正時代の電力・エネルギー利用に関連する記述の正誤の組み合わせとしてみっとも適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 31)

- ① 大阪紡績会社は、水力を動力とした輸入の紡績機械を使って業績をあげた。
- ② 北九州の筑豊一帯では排水用蒸気ポンプの導入に成功したのを契機に炭鉱開発が進んだ。
- ③ 第一次世界大戦前から発達し始めていた電力業では、大規模な火力発電事業が展開され、猪苗代・東京間の長距離送電に成功した。

〔選択肢〕

- |   |     |     |     |
|---|-----|-----|-----|
| A | ①－正 | ②－正 | ③－正 |
| B | ①－正 | ②－正 | ③－誤 |
| C | ①－正 | ②－誤 | ③－誤 |
| D | ①－誤 | ②－正 | ③－正 |
| E | ①－誤 | ②－誤 | ③－正 |
| F | ①－誤 | ②－正 | ③－誤 |
| G | ①－誤 | ②－誤 | ③－誤 |

問10 下線部(キ)に関連して、①から③は石油危機前後(1960年代～1970年代)の出来事である。年代の古いものから順に並べたものとしてみっとも適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 32)

- ① 第1回先進国首脳会議(サミット)の開催
- ② 東海道新幹線の開通
- ③ 日本の国民総生産(GNP)が初めて世界第2位になる

〔選択肢〕

- |   |     |   |     |   |     |
|---|-----|---|-----|---|-----|
| A | ①②③ | B | ①③② | C | ②①③ |
| D | ②③① | E | ③①② | F | ③②① |

〔V〕 次の1から3の文章を読み、以下の設問に答えよ。(解答番号 33～40, 109～110)

1 琉球王国は、江戸時代以来、事実上薩摩藩(島津氏)に支配されながら、名目上は清国を宗主国にするという複雑な両属関係にあった。政府はこれを日本領とする方針をとって、1872(明治5)年に琉球藩において政府直属とし、琉球国王の (1) を藩王とした。しかし、宗主権を主張する清国は強く抗議し、この措置を認めなかった。そこで、政府は琉球漂流民が台湾で殺害された事件を理由に、1874(明治7)年に台湾に出兵し、清から賠償金をえた。これで琉球の領有が認められたとした政府は、1879(明治12)年には、琉球の人々の反対をおさえつけて、琉球藩を廃して沖繩県を設置した(琉球処分)。

また台湾では、日清講和条約締結後<sup>(イ)</sup>に台湾在住の中国人が台湾民主国の独立を宣言したが、日本軍に敗北した。日本は1895(明治28)年、台湾総督府を設置して海軍軍人の (2) を総督とし、軍事力によって抗日抵抗運動を弾圧しながら植民地支配をすすめた。<sup>(ウ)</sup>

問 1 空欄(1)と(2)に当てはまる人名の組み合わせとしてもっとも適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 33)

- |   |        |          |
|---|--------|----------|
| A | (1) 尚泰 | (2) 樺山資紀 |
| B | (1) 尚泰 | (2) 後藤新平 |
| C | (1) 尚寧 | (2) 樺山資紀 |
| D | (1) 尚寧 | (2) 後藤新平 |



問 2 下線部(ア)に関連して、琉球王国をめぐる両属関係に関する記述として適切でないものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 34)

- A 琉球王国は、薩摩の島津家久の軍に征服され、薩摩藩の支配下に入った。
- B 幕府は、琉球王国に対し、天皇の代替わりごとに謝恩使を、将軍の代替わりごとに慶賀使を江戸に送らせた。
- C 薩摩藩は、琉球王国にも検地・刀狩をおこなって兵農分離を推し進めて農村支配を確立した。
- D 清国の冊封を受けていた琉球王国は、2年に1回使節を乗せた進貢船を派遣して、朝貢貿易を行っていた。

問 3 下線部(イ)に関連して、沖縄県設置後の地方自治に関する記述の正誤の組み合わせとしてもっとも適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 35)

- ① 衆議院議員選挙法が公布された翌年に、沖縄県では衆議院議員選挙が実施された。
- ② 謝花昇は県会設置を求める運動をおこなった。
- ③ 沖縄県で府県制が実施されたのは、府県制の公布から10年以上経ってからであった。

〔選択肢〕

- |   |     |     |     |
|---|-----|-----|-----|
| A | ①－正 | ②－正 | ③－正 |
| B | ①－正 | ②－正 | ③－誤 |
| C | ①－正 | ②－誤 | ③－誤 |
| D | ①－誤 | ②－正 | ③－正 |
| E | ①－誤 | ②－誤 | ③－正 |
| F | ①－誤 | ②－正 | ③－誤 |
| G | ①－誤 | ②－誤 | ③－誤 |

問 4 下線部(ウ)に関連して、①から④は日本の植民地支配に関連する出来事である。年代の古いものから順に並べたものとしてもっとも適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 36)

- ① 台湾が日本領となる
- ② 朝鮮総督府の設置
- ③ 南満州鉄道株式会社の設立
- ④ 旧ドイツ領南洋諸島の委任統治権を得る

〔選択肢〕

- |   |      |   |      |   |      |
|---|------|---|------|---|------|
| A | ①②③④ | B | ①②④③ | C | ①③②④ |
| D | ①③④② | E | ①④②③ | F | ①④③② |

2 鮭やにしんの漁場だった蝦夷地は、いりこ・干あわび・ふかひれなどが俵物として長崎貿易の輸出品となり、重要性が高まっていった。蝦夷地における交易地は、17世紀後半には商人が担うようになり(  ), 大規模な資本を投下する者もあらわれた。商人のなかには、アイヌを酷使する者もあった。

開国後、明治政府は北方を開発するため、1869(明治2)年、蝦夷地を北海道と改称して開拓使をおき、  式の大農場制度・畜産技術の移植をはかった。開発の陰で、アイヌは伝統的な生活・風俗・習慣を失っていった。

問 5 空欄(3)と(4)に当てはまる用語の組み合わせとしてもっとも適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 37)

- |   |           |          |
|---|-----------|----------|
| A | (3) 商場知行制 | (4) アメリカ |
| B | (3) 商場知行制 | (4) フランス |
| C | (3) 場所請負制 | (4) アメリカ |
| D | (3) 場所請負制 | (4) フランス |

問 6 下線部(エ)について、1604(慶長9)年に徳川家康からアイヌとの交易独占権を認められて形成された藩の名称を解答用紙裏面の解答欄に漢字で記入せよ。(解答番号 109)

問 7 下線部(オ)について、アイヌに関する記述として適切でないもの一つを選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 38)

A 13世紀にはアイヌの文化が生まれるようになり、津軽の十三湊を根拠地として得宗の支配下にあった安藤(安東)氏との交易をおこなっていた。

B アイヌたちは1457(長禄元)年、大首長コシャマインを指導者として蜂起し、和人の館を次々に攻め落とした。

C 幕府は八王子千人同心を蝦夷地に入植させたうえ、1802(享和2)年には、東蝦夷地を永久の直轄地とし、居住のアイヌを和人とした。

D 政府は1899(明治32)年、北海道アイヌ協会を設立してアイヌを農業に従事させようとした。

3 第二次世界大戦下で、アメリカ軍は1945(昭和20)年4月には沖縄本島に上陸し、島民を巻き込む3カ月近い戦いの末これを占領した(沖繩戦)<sup>(カ)</sup>。第二次世界大戦後の沖縄は日本本土から切り離されて、アメリカ軍の直接軍政下におかれた。日本の独立回復後<sup>(キ)</sup>も、沖縄は引き続きアメリカの施政権下におかれたが、ベトナム戦争にともなう基地用地の接収とアメリカ兵の犯罪増加があり、祖国復帰運動が本格化していた。アメリカは、沖縄基地機能の安定のため、1969(昭和44)年の首脳会談で施政権返還を約束し、1971(昭和46)年、沖繩返還協定<sup>(ク)</sup>が調印され、翌年、沖縄は日本に返還された。

問8 下線部(カ)について、沖縄戦に関連する記述の正誤の組み合わせとして最も適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号39)

- ① 沖縄戦における住民の犠牲者は、アメリカ軍の死者数を上回った。
- ② 沖縄の日本軍が最終的に降伏したのは、1945(昭和20)年の9月であった。
- ③ 沖縄から鹿児島へ疎開する学童を乗せた対馬丸が、アメリカの潜水艦によって撃沈された。

〔選択肢〕

- |   |     |     |     |
|---|-----|-----|-----|
| A | ①－正 | ②－正 | ③－正 |
| B | ①－正 | ②－正 | ③－誤 |
| C | ①－正 | ②－誤 | ③－誤 |
| D | ①－誤 | ②－正 | ③－正 |
| E | ①－誤 | ②－誤 | ③－正 |
| F | ①－誤 | ②－正 | ③－誤 |
| G | ①－誤 | ②－誤 | ③－誤 |

問 9 下線部(キ)に関連して、以下はポツダム宣言と日本国憲法の一部である。

空欄(5)に当てはまる語句を解答用紙裏面の解答欄に漢字で記入せよ。(解答番号 110)

ポツダム宣言

十 吾等ハ(略)一切ノ戦争犯罪人ニ対シテハ、嚴重ナル処罰ヲ加ヘラルヘシ。日本国政府ハ日本国国民ノ間ニ於ケル民主主義的傾向ノ復活強化ニ対スル一切ノ障礙ヲ除去スヘシ。言論、宗教及思想ノ自由並ニ  
〔5〕ノ尊重ハ確立セラルヘシ (『日本外交年表並主要文書』)

日本国憲法

第十一条 国民は、すべての〔5〕の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する〔5〕は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与へられる。

問10 下線部(ク)に関連して、沖縄返還協定の調印時に内閣総理大臣であった人物が行った政策としてもっとも適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 40)

- A 日米安全保障条約の改定について交渉をすすめ、日米相互協力及び安全保障条約に調印した。
- B 日ソ共同宣言に調印し、日ソ国交回復を実現した。
- C 内需拡大を掲げて貿易黒字・円高不況に対処し、日中平和友好条約を締結した。
- D アメリカのアジア政策に協力し、大韓民国の朴正熙政権と日韓基本条約をむすんだ。